

2018年10月12日

春日部市長
石川 良三 様

日本共産党春日部市議団
団 長 松本 浩一
幹事長 並木 敏恵
卯月 武彦
大野とし子
今尾 安徳
坂巻 勝則

放課後児童クラブ指定管理者について緊急申し入れ

放課後児童クラブの指定管理者の更新にあたり、20年間の実績を持つ社会福祉協議会が応募せず、子ども、保護者、指導員に大きな不安が広がっています。

先の9月議会では、「市と社会福祉協議会は、ともに児童クラブを運営してきたパートナー」「社会福祉協議会が応募しなかったことは残念」という市の認識が述べられました。しかし、社会福祉協議会の保護者への説明では「指定管理者の応募を前向きに検討し、仕様書を熟読し質問書も提出した」「残念ながら、現状では指導員の確保と費用面で継続は困難と判断し、断腸の思いで断念した」とのことでした。

保護者説明会では、「社協が断念せざるを得ない内容で民間がこれまでのような保育ができるのか」「子どもたちのことをよくわかっている社協の指導員にこれまで通りみてもらいたい」と多くの声が寄せられています。市や社会福祉協議会の都合で、子どもたちが不安になり、慣れ親しんだ指導員と別れなければなりません。さらに、何の落ち度もない指導員が解雇されることとなります。

今回の問題は、市と社会福祉協議会は大切なパートナーでありながら、放課後児童クラブの指定管理者更新にあたり、意思疎通が不十分だったために招いた混乱であると言えます。そのために、子どもたちが犠牲になるようなことがあってはなりません。

市の責任でこの混乱を早急に収束し、子ども、保護者、指導員の不安を解消するために、下記のことを緊急に申し入れます。

記

1. 混乱を招いている放課後児童クラブの指定管理者の公募を白紙撤回すること
2. 来年度以降の放課後児童クラブの運営については、20年間放課後児童クラブを運営し、子どもからも、保護者からも厚く信頼されている社会福祉協議会が継続できるよう、真摯に協議すること
3. 今回の事態は、継続性や安定性において問題のある指定管理者制度を放課後児童クラブに持ち込んだことによるものです。したがって、今後、放課後児童クラブへの指定管理者制度の導入はやめること。